

鶴野地域における公共施設再編に係る住民説明会（質疑要点録）

日時：令和 5 年 6 月 16 日（金）

午後 19 時 30 分～午後 21 時 30 分

場所：環境センター3階 見学者室

◇市出席者

総務部 理事（防災危機管理）丹羽、防災危機管理課長 竹下
生活環境部 理事（環境業務課）西川、環境業務課長 三浦、環境業務課長代理 橋本
建設部 部長 武井、水みどり課長 宮城
教育総務部 部長 安田、教育政策課長 松田、教育政策課長代理 藤原、
教育政策課副参事 井上

◇住民参加者 37 名

■主な質疑内容

【環境センター】

- 土壌汚染調査はもう始められているか。
⇒地歴調査として、事前段階の調査を行っている。
- 解体した後に蓋をして盛土をすることだが、雨が降った場合に地下への浸透や河川への流出しないのか心配している。
⇒基本的には建屋の除染をしてから解体工事をするようになるため、地下浸透については基本的にはないと考える。また、ダイオキシンについては、ほぼ水に溶けず、表層に留まるという性質を持っている。

【新たな公園、公園移転】

- 成長の三大要素として、睡眠食事運動とされており、今回、食事の改善として給食センターの建設を企画されていると思うが、給食センターを建てるにあたって、第2公園がなくなると、成長の三大要素のうち運動ということが問題となってくる。鶴野公園がなくなる期間について、代替公園の検討状況はどうなっているか。
⇒第2公園閉鎖による空白期間は5年ほど予定している。その期間については、環境

センターの解体と給食センターの建設スケジュールを少し短縮できないかということを検討させていただく。また、キャンプ場等の代替場所についても今現在検討している。

⇒鶴野第2公園閉鎖期間の代替場所の候補地はあるのか。

⇒現在、何か所か検討している。

● 公園が無くなることについて、小学校の先生から子供たちへ伝える等、周知されたか。

⇒公園が使えなくなる時期が近づいたら、代替公園も含めて周知していきたいと考えている。

● お昼ご飯が命綱だった子たち、お弁当を持たせてもらえず登校できない子が登校できるきっかけとなるので、ありがたいことである。また、高台公園ができることで、鶴野の防災意識が高まるということも良いと思う。計画について、一つひとつは良いことだと思うが、突然のことで困惑している。工事期間が長く、工事車両も多いのであれば子供たちが危ないため、工事期間中の安全についてよく考えていただきたい。

⇒多くの皆様が鶴野地域の公園をご利用いただいているということで、それぞれの施策のそれぞれの事情について、ご理解いただきたいと考えている。また、新たな公園について、賑わいをもたらす公園をつくっていききたい。これから行う環境センターの解体や給食センターの建設工事については、安全対策に十分配慮していく。子供の通学区域にかかることもあるため、しっかりと調整をしながら安全に工事を進めたいと考えている。

⇒例に上がっていた明和池公園は日陰がないという声がある。そういった明和池公園の実績も踏まえて考えてほしい。

⇒日差し除けの屋根については、現在、明和池公園で導入を進めており、ノウハウや経験を活かし、新しい公園においても検討していく。

● 災害から命を守るということでいろんな案を出されており、これは非常に良いことだと思う。しかし、日程が先にありきになっているのがおかしいではないか。様々な反対意見がでており、白紙にするべきである。

⇒計画については、様々なご意見をいただいているところで、スケジュールについては、今後短縮できるところは短縮していく。また、お話をいただいている代替公園についても検討させていただく。解体工事に進む前の土壌汚染調査、具体的な給食センターの配置計画等は、今後皆様にお示しさせていただくうえで必要となるので、これらは進めさせていただきたいと考えている。

● なぜ直近の3丁目住民に説明がなかったのか。

⇒この計画の周知方法については、皆様のご意見をいただきながら、チラシを配布するなど周知させていただいた。近隣の方々の環境が変わるということは、我々も十分に理解しており、しっかりと説明をさせていただきたい。

⇒決定してからではなく決定の前に話すべきである。質疑応答に勝手に進めることは

ない、と書いてあるがどういうことか。

⇒ご意見をいただく場として3月に説明会を開催させていただいた。これからも地元の皆様にご意見を聞きながら進めたいと考えている。

- 環境センターを取り壊し、跡地に高台公園をつくることは、非常に良いことだと思う。土地も広く、木も多い。また、共働きでないと食べていけない世の中でもあるため、中学校の給食は本当に早くしてほしいと思っている。鳥飼のほうにも土地があるのではないか。準工業地域で交通など条件も良いのではないか。子供たちが高台に行けると言うが5年後であり、今の子供たちも公園で遊ぶ歳ではなくなってくる。やはり第2公園は白紙に戻さないといけないと思う。

⇒意見

【防災】

- 何人くらいが避難されることを想定しているのか。給食センターを同時に設置した場合の避難人数は減るのか。

⇒现阶段で公園の面積がまだはっきりとしていないため、何人とお答えすることは難しい。できるだけ余裕のある高台を整備し、逃げていただく空間を目指したいと考えている。

- 水害時の避難について、浸水深が50cmであっても、避難は困難となる。その状況であっても高台へ上がるようにするのか。

⇒我々が推奨するのは広域避難という考えであり、浸水する前に避難をお願いしている。高齢者や障害者の方に、命を守るため、緊急的に避難することができる高台としたい。その後、吹田方面など、高い方面へ逃げていただくことを考えている。

【給食センター】

- 給食の食材について、安全な食材を使用しているか。

⇒給食が安価なのは食材を大量購入しているからであって、悪いものを使っているわけではない。できる限り低農薬野菜があれば検討はしているが、食材は現在登録いただいている業者からの選定となっている。

- 環境センター跡地に公園と給食センターを建設し、災害時に給食センターへ避難できるように建てられないのか。

⇒給食センターについては、避難場所ではないと考えている。災害時に多くの避難者を受け入れるため、高台の上に施設を建てず、一時避難場所として、できる限り公園面積を多く確保したいと考えている。

- 長い間検討し第2公園しかない、とした合理的な理由を説明してほしい。

⇒日曜日に給食センターのこれまでの経緯、検討結果について、説明させていただく。
来られない方へは HP にて公表させていただく。

- 給食センター用地の確定については、周辺住民の合意のもとに一緒に考えていくということが大事であるため、直近 13 軒含め鶴野の住民の方々としっかりと議論をして進めてほしい。

⇒皆様のご理解は、今後進めていく中で必要と考える。我々ができる説明責任を果たし、ご意見をお聞きしながら進めたい。